

昨年度下半期の活動報告 (概要)

山形県作業療法士会では、研修事業として、認知症基礎研修、認知症対応力向上研修をオンラインにて開催した。また認知症の予防や啓発を目的とした一般介護予防事業「認知症出前講座」、一般公開講座「認知症フォーラム」を実施した。

認知症基礎研修は認知症アップデート研修の内容を実施した。認知症対応力研修は「認知症高齢者の歩行の特徴と予防に有効な評価法」をテーマに福岡教育大学の中村貴志教授を講師としてお招きし実施した。例年の同研修と比較し、急性期、回復期からの参加者が多く見られた。講師の研究を中心に各種評価法やエビデンスの紹介があり、臨床の経験に構造的な根拠を重ねられる機会となった。

認知症出前講座は、市町村等からの依頼があり、昨年度は7回実施した。認知症フォーラムは、各支部の認知症カフェ等を会場に、対面で開催した。昨年度は初めて、認知症に関する小学生向け資料を使用し、学童にて実施した。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

例年同様、一般向け認知症作業療法パンフレットの紹介を県士会ホームページやSNS等に掲載し、認知症の理解を深めるための情報発信と希望者にはパンフレットの配布を行う予定である。

にんちしょう 認知症になると どうなるの？



たいげん 体験したことを わすれてしまう きおくしょうがい <記憶障害>

- きいたこと、はなしたことをわすれてしまうので
○ おなじことをなんどもきいたり、はなしたりします。
○ 買い物に行っておなじものをなんどもか買ってきたりします。

認知症出前講座 小学生向け資料

Infographic titled '認知症になるのを防ぐために' (To prevent dementia) and '認知症の方への対応のポイント' (Key points for responding to dementia). It includes sections on '受援の心構え' (Mindset for support), '生活の中でのヒント' (Hints in daily life), and '早期発見・早期受診のメリット' (Benefits of early detection and treatment). It also features a section '人は作業をすることで元気になる!!' (People get energized by doing work!!) and '作業療法が受けられるところ?' (Where can occupational therapy be received?).

認知症の人と家族の会との連携事業

昨年10月から認知症の人と家族の会山形支部、若年性認知症のつどい「なのはな」へ参加し、体操や認知症当事者、ご家族との関わりを再開している。

今年度の認知症関連事業 (士会独自の取り組み)

令和6年7月28日に開催された第2回山形県作業療法学術研修大会において、京都橘大学健康科学部作業療法学科長の小川敬之先生を招聘し、「認知症の方と共に作業療法士が地域でできることをテーマとして、地域における認知症の方との共生について、就労的支援などの活動により、社会参加につなげるノウハウ等を学んだ。

認知症基礎研修は、「認知症の困りごと」をテーマにディスカッションを中心とした内容で開催を予定している。

認知症出前講座、認知症フォーラムは例年同様、各支部で実施予定である。

一般向け認知症作業療法パンフレット



認知症フォーラム